

レジメン番号：11-001 / 女性器1

適応疾患：卵巣癌・子宮体癌

レジメン名：Weekly パクリタキセル(3投1休)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 A 1 B	↑	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注 60分	80 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号：11-002 / 女性器2

適応疾患：卵巣癌・子宮体癌

レジメン名：Weekly パクリタキセル(2投1休)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注	80 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号：11-003 / 女性器3

適応疾患：卵巣癌・子宮体癌

レジメン名：Weeklyドセタキセル

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	20~35 mg/m ²	↑	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

レジメン番号：11-004 / 女性器4

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ドキシル

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	ドキシル ※1 5%ブドウ糖(250) 点滴静注 90分	50 mg/m ² 1 B	↑	×	×	×	
2	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	
	デカドロン錠(0.5) ※2 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	8 T	day1~3				

※1 インラインフィルター使用不可。投与時は手足冷却する。

投与量が90mg以上の場合、5%ブドウ糖(500)で希釈し、投与速度は1mg/minを越えないこと。

ステロイド剤等を前投薬に用いる場合は、溶解液を5%ブドウ糖を用いる。

※2 ドキシルによる手足症候群の予防に、day1~3はデカドロン錠(0.5)を8T/朝・昼食後で内服する。

レジメン番号： 11- 005 / 女性器5

適応疾患： 卵巣癌・子宮体癌

レジメン名： パクリタキセル+カルボプラチン(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注	3 V 1 A 1 V 1 B 30 分	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注	175~180 mg/m ² 1 B 3 時間	↑	×	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注	5~6 (AUC) 1 B 60 分	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号：11-006 / 女性器6

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ハイカムチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	2	3	4	5	・ 21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	↑	↑	
2	ハイカムチン 生食(100) 点滴静注 30分	1.5 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	↑	↑	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑	

レジメン番号： 11- 007 / 女性器7

適応疾患： 卵巣癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	70 or 75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	5 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号：11-008 / 女性器8

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ゲムシタビン(3投1休)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号：11-011 / 女性器11

適応疾患：絨毛性疾患

レジメン名：メソトレキセート

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)						
			1	2	3	4	5	・	14
1	メソトレキセート ※1	20 mg/body	↑	↑	↑	↑	↑		
	蒸留水(20)・・・溶解用	1 A							
	筋注	数秒かけて投与							

※1 MTX50mgを蒸留水2mLで溶解し、0.8mL使用する。

レジメン番号：11-012 / 女性器12

適応疾患：子宮頸癌・卵巣癌

レジメン名：トポテシン(添付文書A法)

化学療法内容

(1コース 5 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	8	15	22	29	35
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	↑	×	×	
2	トポテシン ソルデム1(200) 点滴静注 90分	100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	×	

レジメン番号：11-013 / 女性器13

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ハイカムチン+アバスチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	2	3	4	5	・ 21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	↑	↑	
2	ハイカムチン 生食(100) 点滴静注 30分	1.25 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	↑	↑	
3	アバスチン 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	15 mg/kg 1 B	↑	×	×	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑	

レジメン番号：11-014 / 女性器14

適応疾患：卵巣癌

レジメン名：アバスチン(メンテナンス)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	アバスチン 生食(100) 点滴静注	15 mg/kg 1 B 初回90分、2回目60分、以降30分	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	

レジメン番号： 11-015 / 女性器15

適応疾患： 卵巣癌

レジメン名： Dose-dense TC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 A 1 B	×	↑	↑	
3	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	↑	↑	
4	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注 60分	80 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	
5	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号：11-021 / 女性器21

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ドキシル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) デキサート(1.65mg/0.5mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 2 A 1 V 1 B	↑	×	×	×	
2	ドキシル ※1 5%ブドウ糖(250) 点滴静注 90分	30 mg/m ² 1 B	↑	×	×	×	
3	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	5 (AUC) 1 B	↑	×	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	
	デカドロン錠(0.5) ※3 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	8 T	day2~4				

※1 インラインフィルター使用不可。投与時は手足冷却する。

投与量が90mg以上の場合、5%ブドウ糖(500)で希釈して、投与速度は1mg/minを越えないこと。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

※3 制吐療法かつ手足症候群の予防に、day2~4はデカドロン錠(0.5)を8T/朝・昼食後で内服する。

レジメン番号：11-022 / 女性器22

適応疾患：卵巣癌

レジメン名：ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) デキサート(1.65mg/0.5mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 2 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	×	↑	×	
3	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	4 (AUC) 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 11-025 / 女性器25

適応疾患：再発卵巣癌

レジメン名：ドキシル+アバスチン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 5%ブドウ糖(100) 点滴静注 30分	1 V 1 B	↑	×	×	×	
2	ドキシル ※1 5%ブドウ糖(250) 点滴静注 90分	40 mg/m ² 1 B	↑	×	×	×	
3	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	
5	アバスチン 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	10 mg/kg 1 B	↑	×	↑	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	↑	×	
	デカドロン錠(0.5) 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	※2 8 T	day2~3				

※1 インラインフィルター使用不可。投与時は手足冷却する。

投与量が90mg以上の場合、5%ブドウ糖(500)で希釈して、投与速度は1mg/minを越えないこと。

※2 手足症候群やその他の副作用に応じて、day2以降にデカドロン錠(0.5)の使用を考慮する。

レジメン番号： 11-029 / 女性器29

適応疾患：胚細胞腫瘍

レジメン名：BEP療法

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)								
			1	2	3	4	5	・	8	15	21
1	ソルデム3A(500) 点滴静注(メイン) 120分	1 B (9:00)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
2	ハルトマン輸液pH8(500) 点滴静注(メイン) 120分	1 B (11:00)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
3	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(サブ) 30分	1.5 V 1 V 1 B (12:15)	↑	×	×	×	×			×	×
4	フロセミド(20) 静注(サブ)	1 A (12:45)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
5	シスプラチン ※1 生食(250) 点滴静注(メイン) 30分	20 mg/m ² (13:00)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
6	マンニトール(300) 点滴静注(メイン) 60分	1 B (13:30)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
7	エトポシド 生食(500) 点滴静注(メイン) 120分	100 mg/m ² 1 B (14:30)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
8	ソルデム3A(500) 点滴静注(メイン) 120分	1 B (16:30)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
9	ハルトマン輸液pH8(500) 点滴静注(メイン) 120分	1 B (18:30)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
10	ブレオ ※2 生食(50) 点滴静注(サブ) 全開	30 mg/body 1 B (18:30)	×	↑	×	×	×			×	×
11	ソルデム3A(500) 点滴静注(メイン) 120分	(20:30)	↑	↑	↑	↑	↑			×	×
12	ブレオ ※2 生食(50) 点滴静注 全開	30 mg/body 1 B	×	×	×	×	×			↑	↑
13	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	×	×	×	×	×			↑	↑
	デカドロン錠(0.5) 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	16 T	day2~5								

※1 Total 250mLに調製する。

※2 ブレオの総投与量は360 mgを越えないこと。

レジメン番号：11- 030 / 女性器30

適応疾患：卵巣癌

レジメン名：Weekly パクリタキセル+アバスチン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	↑	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	↑	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	↑	
3	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※1 80 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	↑	
4	アバスチン 生食(100) 点滴静注	10 mg/kg 1 B 初回90分、2回目60分、以降30分	↑	×	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	↑	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 11- 033 / 女性器33

適応疾患： 卵巣癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン+アバスチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	70 or 75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	5 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	アバスチン 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	15 mg/kg 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 11-034 / 女性器34

適応疾患： 卵巣癌

レジメン名： ゲムシタビン+カルボプラチン+アバスチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) デキサート(1.65mg/0.5mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 2 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	×	↑	×	
3	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	4 (AUC) 1 B	↑	×	×	
5	アバスチン 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	15 mg/kg 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号: 11-041 / 女性器41

適応疾患: 卵巣癌・原発性腹膜癌

レジメン名: シスプラチン+トポテシン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1.5 V 1 V 1 B	↑	×	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	×	↑	↑	×	
3	トポテシン ソルデム1(200) 点滴静注 90分	60 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
4	硫酸Mg注(20mEq/20mL) ソルデム3A(500) 点滴静注 60分	1 A 1 B	↑	×	×	×	
5	マンニトール(300) 点滴静注 45分	※1 1 B	↑	×	×	×	
6	シスプラチン 生食(500) 点滴静注 60分	※2 60 mg/m ² 1 B	↑	×	×	×	
7	生食(500) 点滴静注 60分	1 B	↑	×	×	×	
8	ソルデム3A(500) 点滴静注 60分	1 B	↑	×	×	×	
9	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	×	↑	↑	×	
	デカドロン錠(0.5) 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	16 T	day2~4				

◆ 最大6コースまで。

※1 マンニトールによる血管痛予防のためホットパックを使用すること。

※2 Total 500 mLに調製する。

シスプラチンによる腎障害予防のため、day1~3は1000 mL/日以上の飲水を行うこと。

レジメン番号：11- 043 / 女性器43

適応疾患：子宮頸癌

レジメン名：パクリタキセル+カルボプラチン(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	3 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注 180分	175 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	5 (AUC) 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号：11-048 / 女性器48

適応疾患：絨毛性疾患(胎状奇胎)

レジメン名：コスメゲン

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)						
			1	2	3	4	5	・	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) グラニセトンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	↑	↑		
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑		
3	コスメゲン 蒸留水(20)・・・溶解用 生食(50) 点滴静注 15分	0.5 mg/body 1 A 1 B	↑	↑	↑	↑	↑		
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑		

レジメン番号： 11- 049 / 女性器49

適応疾患： 卵巣癌(相同組換え修復欠損+)

レジメン名： リムパーザ+アバスチン(維持療法)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	アバスチン 生食(100) 点滴静注	15 mg/kg 1 B 初回90分、2回目60分、以降30分	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	
	リムパーザ 経口	600 mg/日 1日2回に分けて内服	day1~21			

◆ アバスチンの投与は維持療法前より合計15ヶ月間までとする。

レジメン番号： 11-050 / 女性器50

適応疾患： 子宮体癌

レジメン名： キイトルーダ(3週毎)+レンビマ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
	レンビマ 経口 1日1回内服	20 mg/日	day1~21			

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号：11-051 / 女性器51

適応疾患：子宮体癌

レジメン名：キイトルーダ(6週毎)+レンビマ

化学療法内容

(1コース 6 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	8	15	22	29	36
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	×	×
	レンビマ 経口 1日1回内服	20 mg/日	day1~42					

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 11- 056 / 女性器56

適応疾患： 子宮頸癌

レジメン名： キイトルーダ+アバスチン維持療法

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	アバスチン 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	15 mg/kg 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。